

## 若葉町まちづくり方針骨子案

### 第1章 まちづくり方針の策定にあたって（2ページ程度）

これまでの公共施設再編の流れや若葉町についてはまちづくりの視点で検討する必要があること、方針は公共施設再編計画等と都市計画マスタープランの下に位置付けられるものであること、まちづくりという多くの時間が必要な取組の中でまちの将来像、再編、跡地活用について示すことで、一定の方向性に沿ってまちづくりを進めていく為の方針であることを記載。

### 第2章 対象区域（1ページ程度）

第九中学校圏域である若葉町全域とするものの、市境であることや幸町とも生活圏が重複することから広域的な視点を考慮することを記載。

### 第3章 まちづくりの前提条件（3ページ程度）

都市計画マスタープランの将来都市構造図や「若葉・幸地区」として定められている地域別構想（まちづくりの目標や地区別整備方針）のほか、小学校の統合、清掃工場の移転、生産緑地、都市計画道路、団地の建替えといった昨今の土地利用の変化について記載。

### 第4章 若葉町の現況と課題（10ページ程度）

若葉町を取り巻く状況について、人口動向（少子高齢化、人口減少）、土地利用（旧若葉小学校跡地、清掃工場跡地、用途地域）、都市基盤（交通網、都市計画道路）、都市環境（公園、緑地）、公共施設（再編の必要性、各施設の状況）について現況と課題の整理。そのほか、地震や風水害の頻発化・激甚化やSDGsといった社会情勢の変化についても記載。

### 第5章 市民意見・サウンディング型市場調査結果（5ページ程度）

若葉町まちづくりに関するアンケート（再編の必要性、跡地に導入する機能）、若葉町まちづくりワークショップ（キャッチフレーズ、こだわりポイント）、旧若葉小学校・現清掃工場跡地の利活用に関するサウンディング型市場調査結果及び旧若葉小学校の利活用に関するトライアル・サウンディング型市場調査結果について抜粋して記載。

### 第6章 まちのコンセプト（2ページ程度）

概ね20年後に実現を目指すまちの将来像とまちづくりの方向性（「環境」「再編」「防災」など5つ程度の柱）をワークショップやアンケートを参考に記載。将来像はワークショップで作成されたキャッチフレーズのうち、アンケートで最も多くの支持が得られたものを想定。

## 第7章 まちづくりの進め方（1 ページ程度）

まちの将来像を実現するまでの概ね 20 年間を、旧若葉小学校又は清掃工場の既存施設が残存している期間とそれ以降でステージ 1、ステージ 2 に分割し、その間の再編及び跡地利用の大まかなスケジュール感を提示。

## 第8章 公共施設再編・跡地活用の方向性（12 ページ程度）

第九中学校圏域の公共施設の建替え、改修等の方向性を定める再編方針、建替え施設の規模や概算工事費等を定める整備計画、再編の結果を保全計画との比較をした面積・コスト削減予測、旧若葉小学校と現清掃工場跡地の活用方針やゾーニング、想定用途について記載。

## 資料編

市内公共施設の配置図、中学校圏域の地図及び方針内で用いられる用語の解説を記載。